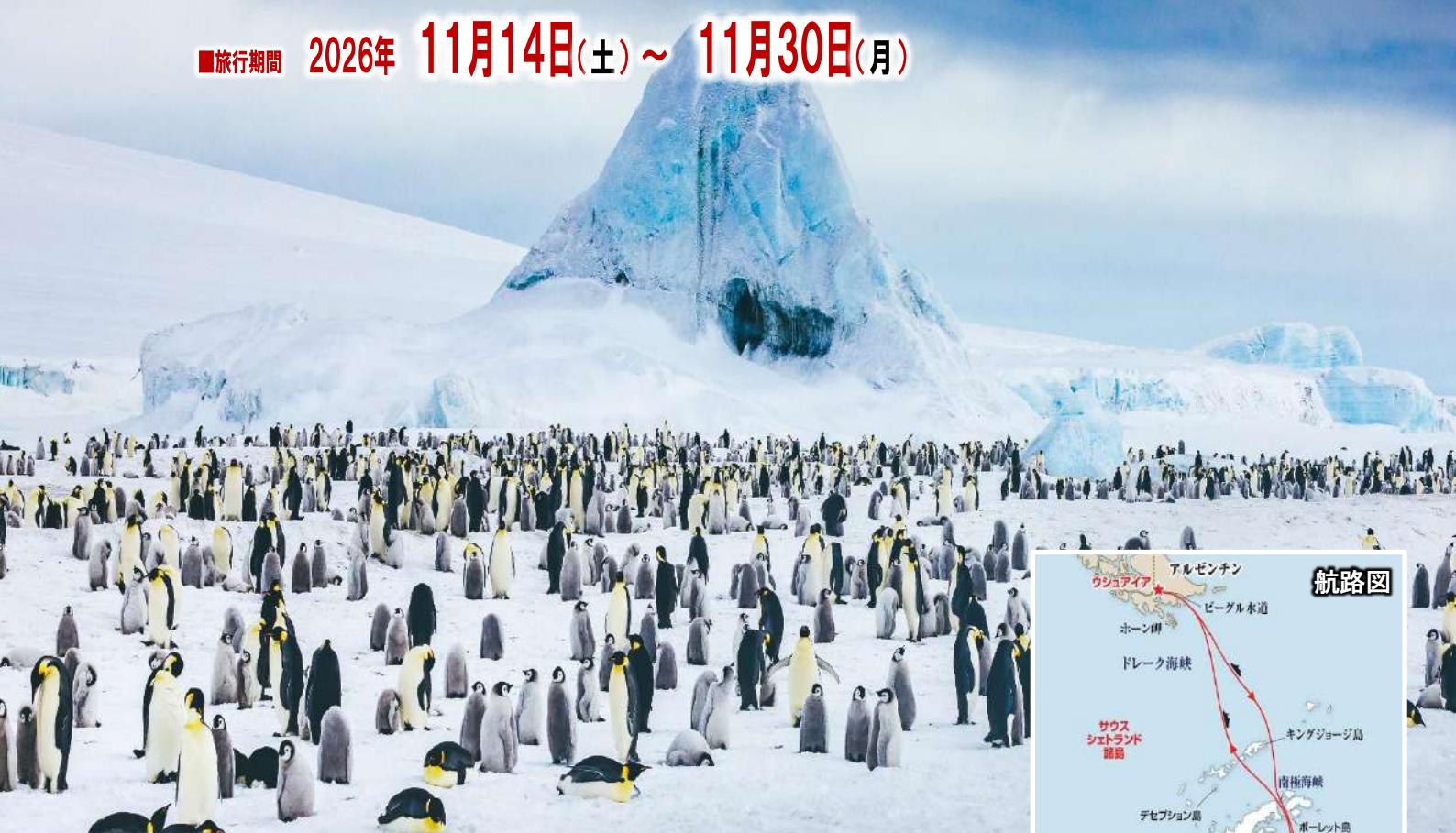


新造船・ウルトラマリン号で数千羽のコウテイペンギンの営巣地へ

南極大陸上陸&ウェッデル海 コウテイペンギンのスノーピル島クルーズ 17日間

■旅行期間 2026年 11月14日(土) ~ 11月30日(月)



■旅行代金(羽田発着・1人様辺りの料金) 相部屋利用でのお申込も承ります(トリップは不可)

	船室詳細	相部屋(船室)	1人部屋(船室)
エクスプローラートリップ	26.5 m ² / 3名部屋	4,980,000 円	設定なし
エクスプローラースイート	26.5 m ² / 2名部屋	5,680,000 円	8,980,000 円
バルコニースイート	21.5 m ² +バルコニー / 2名部屋	6,180,000 円	9,880,000 円

お申込みに関して【重要】

◎旅行代金には羽田～ウシュア島の航空運賃とクルーズ船の運賃、日程表記載の食事を含みます
燃油サーチャージや空港税・港湾税、海外旅行傷害保険、お飲み物代、船内チップなどは別途。
◎弊社には予め船室のアロット(予約船室)を確保しておりますが、クルーズ会社の都合で、
長期間お申込みが決まらない船室は返却、以後はお申込ごとに空室確認が必要となります。
南極クルーズは非常に人気が高く1年～半年前に予約で埋まる船室もございます。
弊社はクルーズ会社と151日前までお取消料が発生しない特約(通常は181日前)を
結んでおりますので、まずはご希望のクルーズ・船室の確保をお勧めします。

●別途、燃油サーチャージ(目安112,350円)、現地空港税(目安13,520円)
国際観光旅客税(1,000円)、羽田空港施設使用料(2,610円)、ウシュア島港税(目安85,000円)
アメリカドルの変動により「ご旅行条件(要旨)」に記載した為替サーチャージ調整が発生します。
目安は2026/1/1現在です。各変更の場合がございます

●クルーズ船の船室は相部屋でのお申込みを承ります(エクスプローラースイート、バルコニースイート)。
同室の方は同性の方ですが、日本人以外の方と同室になることがあります(現地到着後に判明)。

●上級船室(テラックスバルコニースイート、テラススイート、オーナーズスイート等)はお問い合わせください。

●国際線のビジネスクラスはお問い合わせください。
ビジネスクラスの追加代金はお申込金と合わせてのお支払いとなります。また、お客様都合での
ご参加取消の場合はツアー条件とは別にビジネスクラスのお取消料が発生します。

●歩行レベル：観光(上陸地では体力に合わせて散策をお楽しみください)
●利用国際線航空会社：トルコ航空、エミレーツ航空(日程表はトルコ航空利用の場合)
●最少催行人員：6名(定員15名) ●食事：朝13食、昼11食、夕12食
●船内チップは260アメリカドル/人(目安)を現地でお支払下さい
●利用ホテル(シャワーのみの場合あり)
ブエノスアイレス：エンペラードルホテル、インターモンチネンタル(スタンダードクラス)
●クルーズ船内はシャワーとなります
●ツアーガイド 羽田集合・解散にて同行(予定 今長谷啓享 ブルーブラネットツアーア)



©「クルーズライフ」

- ①南極の夏に設定。平均最低気温は+5～-5°C程度。
南極だから極寒というわけではありません。
- ②ウルトラマリンに搭載されている2機の双発ヘリコプターで、めったに訪れる事のできないコウテイペンギンの伝説の営巣地の近くへ。コウテイペンギンの数は8000番と言われます。そこは分厚い海氷を横切って歩くコウテイペンギンの姿を間近でご覧いただける真の極地探検の世界。「ペンギンの行進」やBBCの「フローズンプラネット」を彷彿させる光景をお楽しみいただけます。
- ③コウテイペンギン以外では南極半島付近で見ることが出来るアデリー、チンストラップ、そしてゼンツーペンギンたちはパートナーと子育てのための営巣活動に入る時期です。
- ④南極半島東側のウェッデル海エリアに最大5日間滞在。南極らしい巨大な氷山が浮かぶ風景に期待できるのはウェッデル海エリアならではの楽しみです。もちろん南極大陸(半島)への上陸も目指します。
- ⑤世界トップの南極クルーズ会社 クオークエクスペディションのクルーズです。
- ⑥南極の旅には経験ある案内人が必須。南極上陸経験が
11回のネイチャーガイド兼カメラマンの今長谷(イマハセ)が日本出発から同行します。
- ⑦ウルトラマリン号(13500トン)は2021年就航。極地クルーズの英知を結集した高級探検客船。ドレーク海峡の揺れにも強い構造です。
- ⑧南極上陸は一度に100人までという南極条約があります。設備自慢の大型クルーズ船は交代制の長い下船順待ちがある上に上陸時間も限られ、はるばる訪れた南極で大変なフラストレーションになります。このツアーアイテムは定員172名というジャストサイズのクルーズ船利用により、上陸とボートクルーズに全員が同時に上陸し、南極の大自然へ。上陸時間もゆったり!
- ⑨防寒着(パルカ)を進呈。普段、お使いの冬服で準備は十分です。
- ⑩お取消料の発生は個人申し込みや他社より30日前から!

南極上陸11回の今長谷同行



		日程
①	羽田空港 関西空港(22:50 発)	機中泊
②	イスタンブル ブエノスアイレス空港(22:25 着) ブエノスアイレス・ホテル(24:00 着) 専用車で市内のホテルへ。	ブエノスアイレス泊 (夕:X)
③	ブエノスアイレス・ホテル ブエノスアイレス空港 ウシュアイア空港 ウシュアイア市内…ウシュアイア港・集合場所 → 出港 クルーズ会社手配のクルーズ専用車でブエノスアイレス空港へ(クルーズ船メンバーとの混載) クルーズ会社のチャーター機にてウシュアイア着後、クルーズ会社の車でウシュアイア市内へ移動し、乗船時間まで自由行動 時間が十分あればソーガイドが監獄跡などウシュアイア市内散策にご案内します(入場料は各自支払い)。 夕方前に徒歩で港近くに集合し、クルーズ会社の車でクルーズ船へ。 夕方 いよいよ出港します!! チャールズ・ダーウィンが世界一周したビーグル号に因んで名づけられたビーグル水道を進みます。	船中泊 (朝:○、昼:X、夕:○)
④ ~ ⑥	<u>4~5日目の2日間でドレーク海峡を横断し、6日にウェッデル海へ</u> 刻々と気象や海象が変わるドレーク海峡を通過します。 出港後、安全のためのガイダンスと船長によるウェルカムカクテルが開催されます(クルーズを通してフォーマルな服装は一切不要です)。 野生動物、探検の歴史などを学ぶ説明会(英語)が開かれます(午前・午後、一部を除いてご参加は自由です)。 6日目にはウェッデル海へ。船内ではコウテイペンギンに関する説明会も開かれます	船中泊 (朝:○、昼:○、夕:○)
⑦ ~ ⑪	<u>ウェッデル海とスノーヒル島のコウテイペンギンの営巣地観光 & 南極半島上陸</u> スノーヒル島への旅 (滞在中にクルーズ船指定の順番でのご案内となります。ご協力とご理解をお願いします) 天候や気象、海水の状態を確認して、スノーヒル島のどのポイントまで耐水船ウルトラマリンを近づけるかが決まります 停船後いよいよヘリコプターに乗ってコウテイペンギンの営巣地へ向かいます。ヘリコプターからの雪に覆われた山々や巨大な卓上氷山の絶景を楽しむフライトです(通常片道 45 分程度)。スノーヒル島南岸の海上にある営巣地にできる限り近い場所に着陸。ペンギンの邪魔にならない距離として最低 1kmを保つ必要がありますので、営巣地までは氷の上を歩いて訪れます(距離は日により変わります)。 やがて遠くからペンギンの鳴き声が聞こえてきます。 地球上で最も希少な野生生物の 1 つ、めったに見られない数千羽ものコウテイペンギンの営巣地が広がります。 この探検クルーズの目標はすべてのお客様を遠隔地の営巣地へご案内することです。エクスペディション・チームと特別な専門家が同行し、お客様の質問にお答えし、見るべきものをすべて見ていただけるようにしています。コウテイペンギンが子供の世話ををする様子、風変わりでありながら効率的な移動方法のボディサーフィンを間近で観察します。 コウテイペンギン営巣地へのご案内は原則としてクルーズ中にお一人 1 回となります。 スノーヒル島のコウテイペンギンの営巣地を訪れることがこの探検クルーズの目標ですが、天候や氷の状態により営巣地を訪問できない場合や、訪問期間が短くなる場合は、他の場所を探索することがあります。 ***** ウェッデル海など毎日の極地体験 (訪問地は気象条件などで決定されます。下記は訪問地の例です) ウルトラマリンを拠点にしながら、ゾディアックボートでの氷山探検など毎日盛りだくさんのアクティビティを楽しみます。 ◎アンタークティックサウンド(南極海峡)はウェッデル海の広大な棚氷から排出されるテーブル氷山が漂うエリアです。 南極半島東部ならではの巨大なテーブル氷山との出会いに期待しましょう。 ◎ブラウンブラフは南極大陸本土への上陸ポイントです。ブラウニーのようなチョコ色の断崖絶壁が迫る魅力的な観光ポイントです。 ユキドリやゼンツーペンギンなどが生息しています。 ◎火山島のボーレット島には 10 万羽以上のアデリーペンギンの営巣地がある場所です。これほどの数のアデリーペンギンに出会う機会はほとんどなくこの半島北部の魅力の一つです。 ◎「ポーラー・ランジ」と呼ばれる「南極海飛び込み大会」も予定されています。笑いあふれる楽しい参加型イベントをお楽しみください。 参加される方は水着を予めご準備ください。 ※クルーズスタッフやエクスペディション・リーダーはコウテイペンギンの営巣地訪問や南極大陸上陸に最大限の努力はしますが、天候等により達成できない場合もございます。ご返金などはございませんのでご了承の上でご参加ください	船中泊 (朝:○、昼:○、夕:○)
⑫ ~ ⑯	<u>南極大陸に別れを告げてウシュアイアに向けて進路を取り、3日間でドレーク海峡を横断します。</u> 往路同様に船内では動物たちや南極条約の歴史などの説明会(英語)が開催されます。 最後のプレゼンテーションではご乗船された方々に投稿頂いた写真などを題材にしたビデオショーも開催され、傑作に感心したり、爆笑の渦に包まれたりして、この探検旅行を振り返ります。	船中泊 (朝:○、昼:○、夕:○)
⑯	ウシュアイア港(08:00 頃) ウシュアイア空港 ブエノスアイレス空港…(空港移動の場合あり)…ブエノスアイレス空港(23:55 発)	機中泊 (朝:○、昼:X、夕:X)
⑰	イスタンブル	機中泊
⑯	羽田空港(19:45 着)	機中泊

移動 :飛行機 :専用車、 : クルーズ会社手配(混載)車

ブエノスアイレスには空港が 2 か所あります (エセイサ空港とアエロバルケ空港)。

国際線はエセイサ空港発着ですが、ブエノスアイレス~ウシュアイア往復の国内線はエセイサ空港、またはアエロバルケ空港利用のいずれかとなります。
国際線のスケジュールは暫定です。大きく変更になる場合がございます。ご自身で手配される際は最終の案内までお待ちください 1

南極Q & A

危険性について

南極への旅と聞くと大変な危険を伴う探検のようなイメージですが、経験豊富な真のプロスタッフがお世話・ご案内するこのクルーズには特別な危険はございません。プロが常に気を配って案内するという意味では一般的の旅よりも安全とさえ言われるほどです。

服装について

日本の冬に外出する服装でかまいません。現地でフリースと雨具を兼ねたパルカというジャケットが提供され、長靴も貸し出されます。ズボンは撥水性のある暖かいものをご準備ください。お持ちで無ければ厚めのズボンに雨具(ビニール不可)を重ねても大丈夫です。その他、手袋や靴下は午前・午後の上陸に備えて2組、耳あて付きの帽子は厚めの物をご用意ください。出発前にお送りする準備品リストに沿ってご準備いただければ安心です。

主な南極上陸準備品

暖かい帽子、耳あて、ネックウォーマー、サングラス、リュックサック、セーターやフリース、耐水性のズボン(オーバーズボン、または暖かいズボン & 雨具)、手袋(厚め 2 組以上)。撥水性のある手袋との重ね着推奨)



参加者について

10歳代~80歳代の方が参加されています。船は野生動物などの観察ポイントに上陸しますから、長い距離を歩くこともなく特別な体力は必要ありませんが、コウテイペンギンの営巣地までは片道最低1km氷上歩きがございます(距離は日によって変わります)。

船は揺れますか

ドレーク海峡は荒れるイメージがありますが、穏やかな日もあります。いずれにしても天候を予想することは容易ではありません。天候が悪い場合は船室のベッドで過ごされることをお勧めします。船酔いに弱い方は乗船日の昼食後に酔い止めのお薬を服用してください。酔い止めのお薬は日本のものを準備されることをお勧めします。2021年就航の「ウルトラマリン号」は最新の安定装置がついており、これまでの船より大幅にこれが改善されています。

上陸と動物たちについて

コウテイペンギンの営巣地以外の船外活動はソディックボートで行われます。天候にもよりますが通常は午前・午後の2回、5日間の南極滞在中に8回程度の活動を予定しています。ペンギン以外にもアザラシやオットセイなどの出会いに期待しましょう。

気温について

初夏に訪れますから通常は-5°C~+5°Cです。今回訪れる南極半島は南極では最も温暖な地域・西南極エリアにあって、南極のバナナと呼ばれます。半島の形と温暖な気候からイメージされた名前です。我々が持つ厳しい寒さの南極は実は東南極と呼ばれる地域で昭和基地などが東南極です。西南極はあたたかいからこそ多くの動物たちとの出会いが期待できるわけです。船室などはもちろん快適な温度が保たれています。

お申込みに関して【必ずお読みください!】

◎南極上陸には外務省などの許可が必要です。こちらからお送りする必要書類にご記入後にご返送いただきます(出発の3ヶ月ほど前)。

◎相部屋希望のお一人参加でのお申込みも承ります。同室になる方はお申し込み順で可能な限り弊社ツアー内を目指しますが、順番・相部屋希望の人数により日本人以外の方との同室の場合もございます。

◎ブエノスアイレスのホテルはクルーズ船と同じ部屋割りとなります

●ご予約には日本帰国時6ヶ月以上有効なパスポート、お申込金は旅行代金の20%になります。

お申込金はお申し込みと同時にご請求させて頂き、ご入金の確認をもって旅行契約の成立となります。

●フライ＆クルーズ旅行に適用される取消条件となります。お申し込みの際は海外旅行キャンセル保証付きの海外旅行保険の加入をお勧めします。

取消日(旅行開始の前日起算)	151日前まで	150~121日前	120日前~91日前	90日前~出発以降・無連絡・不参加
取消料(旅行代金に対して)	無料	50%	75%	100%

●海外旅行保険について(ツアーお申し込みの方には弊社より海外旅行保険のご案内を差し上げます)

遠隔地のため怪我や病気で緊急搬送が必要となった場合、高額の費用が発生します。治療・救援費用が3000万円以上の海外旅行保険へのご加入がご参加条件となります。クレジットカード付帯保険は内容によらず該当とみなされません。

ご旅行条件(要旨) 詳細はお申し込み後にお渡しする旅行条件書(全文)を必ずお読みください。

この旅行は、神戸新聞興産株式会社(以下当社と呼びます)が手配する旅行であり、参加されるお客様は当社と受託型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結されることになります。旅行契約の内容・条件は、本旅行条件書によるほか、別途お渡しする最終旅行日程表及び当社旅行業約款によります。

●旅行の申込み及びお支払

当社指定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、おひとり様につき1枚のお申込金を添えてお申込みください。

区分	申込金(おひとり様)
全てのお部屋	旅行代金の20%

電話等の通信手段による旅行契約の予約の申込みを受け付けています。この場合、予約の時点では予約は確定しておらず弊社が予約の承認の旨を通知し申込書と期限内に申込金を提出していただきます。この期間内に提出されないときは、予約はなかったものとして取り扱います。また、旅行代金は当社が指定する期日(目安:出発日の120日前)までにお支払いいただきます。

●基準日 このご旅行は2026年1月1日を基準としております。

●旅行代金は2026年1月1日現在有効な航空運賃、クルーズ代金およびアメリカドルの為替レートにて算出しております。

出発180日前のアメリカドル・為替レート(TTS)により旅行代金は為替サーチャージ調整を行います。ご了承ください。

為替サーチャージ

エクスプローラートリップ/スイート、バルコニースイート

145円~150円/\$ - 160,000円(以後5円毎 -160,000円)
150円~160円/\$ 0円 為替サーチャージ調整なし
160円~165円/\$ +160,000円(以後5円毎 +160,000円)

1名部屋の場合

145円~150円/\$ - 270,000円(以後5円毎 -270,000円)
150円~160円/\$ 0円 為替サーチャージ調整なし
160円~165円/\$ +270,000円(以後5円毎 +270,000円)

重要

個人情報の取扱いについて

神戸新聞興産株式会社(以下当社と呼びます)は、旅行申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡のためや運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。

当社が取り扱うサービス・商品に関する情報をお客様に提供させていただくことがあります。これらの事業者への個人データの提供の停止を希望される場合は、お申し込みの際にお申し出ください。

お買い物についてのご注意

●お買い物に際しましては、お客様ご自身の責任でご購入ください。●各社では、商品の交換や返品等のお手伝いはいたしませんので、トラブルが生じないようご商品の確認及びレジの受け取り等は必ずお客様ご自身で行ってください。●先払払戻しの手続きは、その手続きをお店舗・空港等でご確認のうえ、購入品を必ず手元にご用意いただき、お客様ご自身で行ってください。●ワントップ券や国内諸法令により日本への持ち込みが禁止されている品物がありますので、購入にはご注意願います。

●世界探訪ツアー企画＆現地同行・お問い合わせ・お申込み 《受託販売》

福岡県知事登録旅行業第3-771 全国旅行業協会(ANTA)正会員

ブループラネットツアー【株式会社ブループラネット】

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目4-78-305 総合旅行業務取扱管理者 今長谷啓享

TEL 092-406-6950 E-mail imahase@a-tabito.jp 担当:今長谷(いまはせ)

《博多駅前オフィス》TEL 090-2851-0085 E-mail taira@a-tabito.jp 担当:平良(たいら)

●旅行企画・実施 《旅行主催》

神戸新聞興産株式会社

神戸新冒險旅行社

観光庁長官登録旅行業第1084号 日本旅行業協会正会員

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目5-7

神戸情報文化ビル

電話 078-362-7174

総合旅行業取扱管理者/山田陽介